

旧居留地連絡協議会 会員

あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社 朝日生命保険 相互会社 神戸支店 株式会社 朝日ビルディング 株式会社 池田泉州銀行 神戸支店 栄光産業 株式会社 NTT西日本 兵庫支店 株式会社 NTTフアシリティーズ関西事業本部 兵庫支店 エルエルピーインターナショナル 大阪ガス 株式会社 株式会社 大林組 神戸支店 株式会社 カミネ 関西住宅販売株式会社 関西電力 株式会社 神戸営業所 関西不動産 株式会社 神戸支店 株式会社 京都銀行 神戸支店 近畿日本ツーリスト㈱ 神戸支店 KDDI株式会社 有限会社 建隆マネジメント 公共建物 株式会社 株式会社 鴻池組 神戸支店 一般社団法人 神戸銀行協会 神戸市立博物館 神戸信用金庫 株式会社 神戸新聞社 神戸ビル管理 株式会社 神戸貿易協同組合 神戸ポート郵便局 株式会社 神戸マツダ 神戸メリケンパークオリエンタルホテル ゴンチャロフ製菓 株式会社 株式会社 さくらケーシーエス 株式会社 山陰合同銀行 神戸支店 三機工業 株式会社 神戸支店 三共生興 株式会社 株式会社 シークルー 株式会社 JFRサービス 株式会社 塩田商会	株式会社 ジャム・デザイン 株式会社 商工組合中央金庫 神戸支店 商船三井興産 株式会社 神戸支店 神栄 株式会社 神港ビルディング 株式会社 新光美術 株式会社 新日鉄興和不動産 株式会社 ストーリーテラー 株式会社 株式会社 Slash 居留地スポーツ治療院 株式会社 星光ビル管理 株式会社 株式会社 センター興産 株式会社 SOMA 株式会社 第一ビルディング 株式会社 第一楼 大神倉庫 株式会社 ダイダン 株式会社 神戸支店 大日インベスト 株式会社 株式会社 大丸松坂屋百貨店 大丸神戸店 泰和実業 株式会社 株式会社 高砂商行 株式会社 竹中工務店 神戸支店 株式会社 タマクリエイト 寺崎食品産業 株式会社 株式会社 電通西日本 神戸支店 東急不動産SCマネジメント 株式会社 東京海上日動火災保険 株式会社 株式会社 東京スター銀行 東京テアトル 株式会社 シネリーブル神戸 トライスター・ジャパン 株式会社 トリート 株式会社 日仏商会 日本銀行 神戸支店 日本毛織 株式会社 日本真珠販売 株式会社 日本真珠輸出組合 株式会社 ネオス 株式会社 ノーリツ	株式会社 ノザワ 合同会社 パール リレイション 株式会社 白青舎 関西営業統括部 阪神内燃機工業 株式会社 兵庫県信用保証協会 一般社団法人 兵庫県農業会館 株式会社 フェム マーケティングハウス(茶 fe slur) 株式会社 フェリシモ 株式会社 プロネット 平和不動産 株式会社 ホテル ヴィアマール神戸 ホテル トラスティ神戸 旧居留地 松岡不動産 株式会社 株式会社 三井住友銀行 三井不動産リアルティ 株式会社 株式会社 三菱東京UFJ銀行 神戸支店 三菱UFJ信託銀行 株式会社 神戸支店 三菱UFJ Morgan・スタンレー証券 株式会社 神戸支店 株式会社 みなと銀行 南 株式会社 株式会社 御幸ビルディング 神戸御幸ビル管理事務所 室町建物株式会社 神戸事務所 明海興産 株式会社 安田不動産 株式会社 有限会社 山本ビル 学校法人 ロイヤル学園
--	---	--

※2013年10月現在 102社 ●名簿は50音順

旧居留地連絡協議会
神戸市中央区播磨町30大丸カーポート7階
TEL.078-332-0151 FAX.078-332-0052

旧居留地連絡協議会 平成25年度組織図

総会	常任委員会	親睦・イベント委員会	防災・防犯委員会	都心づくり委員会	広報委員会	環境委員会	顧問
会長 野澤 太郎 ノザワ	委員長 富岡 良典 明海興産	委員長 浅妻 一彦 関西電力	委員長 南 嘉邦 南	委員長 松岡 辰弥 松岡不動産	委員長 諫山 一彦 神戸市立博物館	委員長 吉田 昇 東京海上日動火災保険	太田 敏郎 ノーリツ
副会長 丑嶋 淳 明海興産	副委員長 西金 秀紀 大神倉庫	副委員長 終 和秀 大丸松坂屋百貨店	副委員長 田中 貴夫 朝日ビルディング	副委員長 成田 建和 建隆マネジメント	副委員長 李 啓洋 高砂商行	副委員長 斎藤 茂美 KDDI	服部 博明 三井住友銀行
副会長 柚木 和代 大丸松坂屋百貨店	副委員長 松岡 辰弥 松岡不動産		副委員長 山田 俊一 竹中工務店		委員 網本 雅生 ジャム・デザイン		山本 俊貞 地域問題研究所

2013年の旧居留地及び周辺のイベント情報

- ◆2013年10月22日～24日 瀬五郷・SAKEブラザ 神戸市 神戸朝日ビルディング1階 ヒロテイ特設会場
- ◆2013年10月22日～30日 KOBE パンのまち散歩 神戸市中央区各所
- ◆2013年11月17日 神戸マラソン 神戸市 神戸市役所前(スタート)
- ◆2013年11月18日～12月25日 フェリシモ ハッピートイズプロジェクト(神戸・三宮会場) 神戸市 朝日ビルディング 1階 ヒロテイ
- ◆2013年12月5日～16日 神戸ルミナリエ 神戸市 神戸旧居留地境界及び東遊園地
- ◆2013年12月4日～12月25日頃(予定) 南京町ランタンフェア 神戸市 南京町 南京町広場
- ◆2014年1月11日～4月6日 特別展「ターナー 英国最高の風景画家」 神戸市 神戸市立博物館
- ◆2013年10月22日～24日 瀬五郷・SAKEブラザ 神戸市 神戸朝日ビルディング1階 ヒロテイ特設会場
- ◆2013年10月27日 とうべガーデンカフェ2013 インディア・メーカー2013 神戸市 メリケンパーク
- ◆2013年9月28日～12月8日 ブーシキン美術館展 フランス絵画300年 神戸市 神戸市立博物館
- ◆2013年10月11日～12月1日 神戸ビエンナーレ2013 神戸市 メリケンパーク
- ◆2013年9月28日～12月8日 ブーシキン美術館展 フランス絵画300年 神戸市 神戸市立博物館
- ◆2013年10月12日～14日 インディア・メーカー2013 神戸市 メリケンパーク

環境委員会

平成25年度活動計画

- (1)クリーン作戦(兼ポイ捨て防止運動)
 - ◆初夏クリーン作戦/5月16日(木) 参加者約200名で実施
 - ◆初秋クリーン作戦/9月12日(木) 参加者約180名で実施
 - ◆冬季クリーン作戦/11月14日(木)
 - ◆春季クリーン作戦/26年3月13日(木)



- (2)ノーマイカーデー運動
 - 夏運動 6月13日(木)予定通り実施
 - 冬運動 12月12日(木)
- (3)放置自転車・バイク実態調査 実施
 - ルミナリエに合わせ1回実施 (11月末)神戸市との日程調整
- (4)プランター維持管理契約
 - 現状の契約を前年どおり更新 (6月1日に実施)
- (5)ルミナリエ100円募金
 - 前年度と同程度の動員(延べ21名)
- (6)環境委員会定例会議
 - 4月11日、7月25日、10月10日 実施
 - 26年2月13日(何れも木曜)

防災・防犯委員会

平成25年度活動計画

- 防災福祉コミュニティ代表者会議 平成25年4月21日
- 市民救命士 講習会 平成25年7月22日
- 防犯講習会 平成25年7月23日
- 中央区防災技術研修会 競技練習 平成25年8月27日
- 中央区防災技術研修会 台風の為中止 平成25年9月1日平成
- 市民救命士 講習会 25年10月29日
- 今後の予定 毎月17日:防災委員会 開催・旧居留地 防災訓練・メモリアルウォーク

旧居留地連絡協議会

平成25年度活動計画

2013年4月25日(木)、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、平成24年度の定時総会が開催され、昨年度の活動報告及び、今年度の事業計画・予算案等が承認されました。



親睦・イベント委員会

平成25年度活動計画

- 第11回親睦ゴルフコンペ/5月29日(水) 参加者20名で実施
- 夜景鑑賞親睦会/8月9日(金) 参加者47名で実施



- 創立30周年記念式典・コンサート/9月16日(祝) 神戸朝日ホールにて実施
- 創立30周年記念パーティー/9月20日(金) 参加者97名で実施
- 忘年会/12月
- 第12回親睦ボーリング大会/26年3月

広報委員会

平成25年度活動計画

- 広報誌「居留地会議」No34
 - ・(創立30周年特別号)発行 10月22日(火)2,000部発行
 - ・旧居留地連絡協議会WEBサイトの活用、促進
 - ・オフィシャルサイトの運用管理
 - ・協議会活動等の写真撮影
 - ・広報委員会定例会議

都心づくり委員会

平成25年度活動計画

- (1)居留地地区内の建設計画等に対する 聴取、助言
 - NTT西日本 屋外広告物/東京海上日動火災/屋外広告物、38番館 店舗計画/商船三井ビル 店舗計画/常盤ビル 店舗計画/建隆ビル 店舗計画/旧居留地フェスティバル(大丸) パナーデザイン/昭和シェル石油 屋外広告物/興和ビル店舗計画
- (2)他団体・他都市の取組事例の研究、意見交換
 - リージョンコアまちづくり活動に関する研究会(関経連主催)/6月11日、7月29日、10月7日出席
 - 景観形成市民団体連絡協議会/6月17日出席
 - 札幌中央地区町内会連合会との意見交換/9月24日
- (3)道路環境のあり方の検討(放置自転車対策、新規改修道路への提案等)
 - 伊藤町筋・歩道改修計画に対する助言
- (4)ユニバーサルデザインの検討
- (5)神戸市夜間景観形成実施計画への取り組み
 - 神戸市夜間景観形成実施計画推進委員会出席/6月4日、9月6日



新会員募集

●入会のお問い合わせ、お申し込みは、078-333-2444 大丸神戸店(事務局/土池・桜)まで

旧居留地連絡協議会

神戸市中央区播磨町30大丸カーポート7階
Tel.078-332-0151 Fax.078-332-0052

居留地会議

THE FORMER FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE

KOBE 30th
旧居留地連絡協議会

創立30周年
さまざまな記念イベントが
開催されました。



記念式典後のクラシックコンサート



記念イベントの「神戸旧居留地・懐古写真展」



パーティでは太田顧問(ノーリツ)の音頭で乾杯!



記念式典後の甲南ブラスアンサンブルによるJAZZコンサート

旧居留地連絡協議会は、ことしで創立30周年を迎えました。これを記念するさまざまな催しが行われ、よりよいまちを目指すことを会員同士で確認しあうとともに、節目を迎えた協議会の取り組みを市民にアピールしました。

メインとなる記念式典は9月16日に神戸朝日ホールで開かれ、参加を申し込んだ市民ら約400人で会場はほぼ満席状態。あいさつに立った野澤太郎会長は、戦後間もない時期に親睦目的で結成された「国際地区共助会」が発展的に名称を変えて「旧居留地連絡協議会」となり、活動の幅をまちづくりや防災などに広げてきた経緯を紹介したうえで、「この歴史と伝統を守り、まちの魅力をさらに高めていきたい」と決意を披露。来賓の佐藤一郎中央区長からは「かつて東洋で一番美しい居

留地と言われたこの地区の魅力が、さらに高まるように取り組んでいただきたい」と当協議会にエールを送っていただきました。

このあと、「日本史の中のこの30年～旧居留地連絡協議会 活動の時代」のテーマで園田学園女子大名誉教授、田辺眞人氏による記念講演がありました。田辺氏は30年間に日本の社会で起きた大きな変化を振り返りながら、この協議会が果たした役割や意義についてわかりやすく解説しました。

多くの近代洋風建築が残るオフィス街としてだけでなく、近年は神戸を代表するハイセンスなショッピング街として市内外から多くの人が訪れる旧居留地ですが、まちの景観維持や美化、情報の発信

などに地元協議会が果たして来た役割は、まだまだ広く知られていないようです。式典に参加した市民らを通じて、当協議会の存在がもっと広まってほしいものです。

記念式典と講演に続く第2部は記念コンサート。前半はクラシックで、NHK交響楽団の市川雅典さんと鈴木華重子さんによるコントラバスとピアノの2重奏。後半は甲南ブラスアンサンブルや大阪大学軽音楽部SWINGなどによるジャズコンサートがあり、記念の催しをにぎやかに盛り上げました。

一方、旧居留地内のThe 45thビルでは13日から記念式典の日までの4日間、むかしの写真を集めた「神戸旧居留地・懐古写真展」を開催、こちらも多くの人でにぎわいました。

このまちを100年先まで大事にまもりたい。



記念式典後の大阪大学軽音楽部 SWINGによる演奏



モダンタイムスビッグバンドの迫力ある演奏



太田顧問（ローフ）の記念パーティでのあいさつ



いつも楽しませてくれる山田会員と内海会員のパーティーライブ

30周年記念講演 要旨

園田学園女子大学名誉教授
田辺真人 先生



私たちの存在は時間と空間という要素から成っています。分かりやすく言うと、時間は歴史、空間は地理。旧居留地は地理的、空間的には1つの地区ですが、歴史的、時間的にユニークな要素もっている。その歴史を生かしながら、この30年間、地域の振興やビジネスの活性化を図ってこられたのが旧居留地連絡協議会です。

現在では、歴史を生かしたまちづくりや観光振興は珍しくありません。しかし、30年前は違った。当時、神戸ではそうした取り組みがもう1か所ありました。北野山本地区です。NHKの朝のドラマ「風見鶏の館」で一躍、この地区が脚光を浴び、異人館を生かそうという機運が生まれたのは1977年のこと。とはいえ、この新たなまちづくりに目を向けた地域はまだまだ少なかったのですが、ドラマから6年後、終戦直後からの団体を母体にしたこの協議会が発足したわけです。歴史を生かしたまちづくりとしては、きわめて先駆的なものでした。

この30年間は変化の時代です。たとえば協議会創立の年、ワープロは安くなったとはいえ50万円を切ったぐらいの価格。一般の人がワープロを使う時代ではなかった。それだけでも、この30年の大きな意味が分かります。みんなが歴史を生かす必要性に気づき始めた時期に、すでに旧居留地連絡協議会の組織は立ち上がっており、激しい変化のなかで一貫して地域振興に取り組んでこられた。尊敬に値する活動だと思えます。



30周年にちなんで催しの締めくくりとなる記念パーティーは、9月30日夕、ザ チャータードスクエアで開かれました。パーティーには神戸市の都市計画総局などの幹部のほか、岡本、魚崎、三宮中央通り、栄町通りなどでまちづくりに取り組む団体メンバーらに来賓として出席していただきました。冒頭、楠木和代副会長は「歴史の建物を単に保存するのではなく、現代的アレンジで商業や文化に活用しているからこそ人は集まる。神戸の旧居留地は全国的モデルです。このまちを50年、100年先に向けて大事に守り、発展させたい」とあいさつ。引き続き、協議会顧問である太田敏郎氏が「歴史ある旧居留地をただのまちにしないよう、住む人の取り組みが大事」と発破をかけた後、力強く乾杯の音頭をとり、旧居留地連絡協議会の創立30周年を全員で祝いました。



旧居留地連絡協議会 野澤太一郎 会長 | あいさつ |



今日は旧居留地連絡協議会創立30周年の記念の催しに足をお運びいただき、まことにありがとうございます。旧居留地連絡協議会は地区内で事業を営む法人を会員とする団体で、第2次世界大戦直後に設立された国際地区共助会を母体にしております。当初は自警団的な性格を持つ親睦団体でしたが、その後、昭和58年に当地区が神戸市都市景観形成地域に指定されたのを機に、会の名称を現在の旧居留地連絡協議会と改めるとともに、快適な就業環境をつくりだすためのまちづくり活動にも積極的に取り組み始めました。現在、当会では親睦・イベント、防災・防犯、都心(まち)づくり、広報、環境、の5つの専門委員会を設け、親睦活動に加えてプロムナードコンサートなどのイベント開催、ニュース発行やホームページの作成・管理、クリーン

作戦や緑化活動などを継続的に実施しております。とりわけ、18年前の阪神・淡路大震災以降は、安全・安心なまちづくりに精神的に取り組んでまいりました。活動の成果は、平成15年に防災功労者内閣総理大臣表彰、19年には日本都市計画学会・石川賞を頂戴するなど、外部の方々にも高く評価していただいていると自負しております。そして、このような成果を得られた大きな要因は、日ごろからの当会会員間のお付き合いに基づく合意形成力ではないかと考えております。旧居留地では、会員各位のこのまちに対する深い愛着をベースにした企業コミュニティーといったものが成立しており、これがまちづくり活動を活発にし、さまざまな成果を生むのに大きな役割を果たしているように感じます。まちができて150年近くになる現在の旧居留地の姿は、明治32年までの外国人居留地時代を含めて、さまざまな人々のさまざまな思いが結実した結果といえます。先人たちが培ってきたこの歴史や伝統を断ち切ることなく、いっそう魅力的なまちに育てた上で次代に引き継がなければならないと、当会創立30周年にあたり、あらためて決意しております。今後とも皆様のご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。

神戸旧居留地・懐古写真展

木造や石造りの商館が立ち並ぶ明治期の海岸通り。大正時代になると、港からみた居留地にはイルミネーションで飾られた洋風ビルがあり、背後の六甲山には鐘のマークが浮かび上がる。旧居留地連絡協議会の創立30周年記念イベントとして開かれた「神戸旧居留地・懐古写真展」には、むかしの神戸港や外国人居留地を記録した写真パネル66点が紹介され、熱心に見入る市民や観光客らでにぎわいました。展示された写真は神戸市文書館が所蔵するもの。開港間もない時期から昭和に至るまで、各時代のまちの表情や移り変わる様子を当時の活気とともに伝えてくれます。すでに取り壊されてしまった洋風ビルの姿が分かる一方、米国領事館だったところの15番館や商船三井ビルなど現在と比較できる写真も。また、居留地に住んでいた外国の子どもたちによる仮装大会の写真などもあり、興味は尽きません。

印象深いのは、かつて居留地に立ち並んでいた洋風近代建築の重厚さ、まち並みの美しさです。ハイカラ神戸のルーツを実感するとともに、失ってしまったものの価値を思った人も多かったかもしれません。旧居留地の歴史と伝統をあらためて発信した催しとなりました。



↑播磨町筋より海岸通を南に望む(オリエンタルホテル)



↑懐古写真展を熱心に見入る市民や観光客



↑明治29年竣工 ハンセン設計によるレンガつくりの神戸クラブ



↑メリケン波止場より海岸通を望む(昭和元年ごろ)



↑昭和初期 海岸通

旧居留地連絡協議会の歩み

昭和58年	3月	→ 「国際地区共助会」を母体に「旧居留地連絡協議会」創立
	6月	→ 旧居留地が神戸市条例に基づく「都市景観形成地域」に指定
60年	12月	→ 神戸市から景観形成市民団体の認定を受ける
61年	11月	→ 旧居留地の昨日・今日・明日をテーマでシンポジウム
62年	6月	→ 建設大臣の「まちづくり功労賞」受賞
63年	2月	→ 機関紙「居留地会議」創刊号を発行
平成2年	4月	→ 「新たな発展に向けて 旧居留地のまちづくり」発行
	5年	4月 → 発足した「景観形成市民団体連絡協議会」に参加
	5年	9月 → 「アーバンリゾートフェア」に参加、「旧居留地ハイカラフェスティバル」開催
	6年	10月 → 「歴史の流れを未来に引き継ぐー神戸旧居留地・景観形成計画」を作成、神戸市に提出
	7年	4月 → 「1・17」大震災からの復興活動方針を総会で決める
	11月	→ 復興計画書を作成、市に提出
	8年	2月 → 都心(まち)づくり委員会を設置
	10月	→ 防災委員会を設置
	11年	7月 → 居留地返還100周年を記念した式典・祝賀会を開催
	13年	3月 → 防災まちづくり大賞「消防庁長官賞」を受賞
	7~8月	→ 光のアート「クロモリットKOBÉ」に参加
	15年	4月 → 協議会設立20周年記念祝賀会
	9月	→ 「防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞
	16年	3月 → 「震災10年 神戸からの発信」推進委員会に参加
	18年	6月 → 兵庫地域政策研究機構の「21世紀のまちづくり賞」受賞
	19年	5月 → 「日本都市計画学会・石川賞」を受賞

旧居留地連絡協議会は昭和58年3月に創立しました。母体になったのは、終戦後、約30社が集まって親睦と福祉活動に取り組んだ「国際地区共助会」です。旧居留地22haが神戸市都市景観条例に基づく「都市景観形成地域」に指定されたのを機に、重厚な近代洋風建築が残る旧居留地の都市景観を生かしたまちづくりへの機運が高まり、発展的に衣替えしました。

昭和60年12月、協議会は神戸市から景観形成市民団体の認定を受け、翌年には「旧居留地の昨日・今日・明日」をテーマでシンポジウムを開催。こうした活動が評価され、62年6月には建設大臣の「まちづくり功労賞」を受賞しました。

活発な取り組みは平成になっても続きます。同5年9月の「アーバンリゾートフェア」では「旧居留地ハイカラフェスティバル」を開催、協議会の男女メンバーが大正ロマンを漂わせた衣装でイベントを盛り上げました。同じ年に北野町や南京町などが加わる「景観形成市民団体連絡協議会」にも参加、活動の幅を広げました。

大きな困難に直面したのが平成7年1月に阪神・淡路を襲った大震災です。会員はそれぞれ深刻なダメージを受けました。



居留地会議の創刊号



1990年プロムナードコンサート



居留地返還100年祭

日本都市計画学会・石川賞

それでも、震災から日も浅い2月、吹きさらしの大丸カーポートで開いた臨時例会を皮切りに復興への動きが本格化。4月の総会で復興方針を決めるなど、会員の努力で素早い立ち直りを見せました。そして、居留地の返還から100年になる平成11年7月、盛大に開いた記念式典は協議会の熱意と結束力を示す機会となりました。平成13年の夏には、特殊なライトアップ技術で建物に絵を描いたようにライティングする光のアート「クロモリットKOBÉ」に参加、情緒あふれるまち並みが幻想的な光に彩られました。

創立20周年を迎えた後、旧居留地連絡協議会は「防災功労者内閣総理大臣表彰」「21世紀のまちづくり賞」「日本都市計画学会・石川賞」と相次いで受賞します。歴史的な建物や情緒ある街路など足元の「財産」を生かし、魅力あるまちづくりに協力して取り組んできた会員の熱意の賜物といえるでしょう。

協議会の会員は102社を数え(平成25年10月現在)、親睦・イベント、防災・防犯、都心(まち)づくり、広報、環境という5つの委員会を運営、会員の交流や旧居留地の景観保全、安全・安心のまちづくり、美化・緑化、情報の発信などに当たっています。